

佳作
(高校部門)

横浜雙葉高等学校 3年

須藤 理子
すどう りこ

難民として扱われることが一番辛い。

インドシナ難民チャンさん

私は参加した「世界難民の日」シンポジウムで、インドシナ難民チャンさんにお話を伺った。「国内の難民の方を支援するためにできることは何ですか」という私の質問を聞いた時のチャンさんの悲しい目が未だに忘れられない。

「難民として扱われることが一番辛い。支援される対象として見られることが何よりも辛い。」

私はそのチャンさんの言葉を聞いて、自分が無意識にも難民のことを「支援」しなければならぬ社会的弱者として見ていたことに気づいた。それと同時に、シンポジウムに「難民」として登壇しているチャンさんを思うと苦しかった。

だからこそ私は、将来、難民を「支援」するのではなく、「共に生きる」社会の形成に貢献したい。